

論 文

## 訪問看護における介護力評価法

— 介護の実態から試案した介護実施表を使用して —

小泉 靖子・ 境 伸子

(国家公務員共済組合連合会 北陸病院)

On the Assessment at Home Visitation for Evaluating  
the Supportive Ability by Family

— Usefulness of our Observation Table, Formulated  
according to the Actual States of Care —

Yasuko Koizumi, Nobuko Sakai

(KKR Hokuriku Hospital)

### 要 旨

医療処置が必要な状態で在宅に移行する患者及び家族に対する訪問看護では、その介護者に於ける介護力を適切に評価しケア提供することが重要である。

今回、在宅で介護するにあたりどのようなことが問題であり、大変なことであるのかという疑問があった。実際の訪問看護記録より10の評価項目を抽出し、介護者が参画して介護者自身にとっての困難性の有無と程度を把握することで、在宅介護を継続していくことが可能か不可能かを判別する介護力評価方法を考案した。可能・不可能と判別された特徴的な4ケースの分析から、的確なケアアセスメントおよびケア提供ができるという、介護者が参画しての評価方法の有効性が明らかになった。

また、10項目の中でも、在宅での介護の可能・不可能に特に強く影響する項目が明らかになった。それは介護者の、食事援助の困難性・排泄援助の困難性・精神的ストレス・肉体的ストレスの有無と程度であった。特にこれら4点に着目した評価およびケア提供が重要であることが示唆された。